

【富山で防災が広まりにくい理由】

富山は「災害が少ない県」と言われます。

でも、その安心がゆえに、家庭の防災はなかなか進みにくいんです。

① 「富山は安全やろ」と思いやすい

大きな災害が少なかったので、つい“自分とは関係ない”と思ってしまう。

② 災害のイメージがしにくい

身近で被害を見ることが少ないから、自分のこととして考えにくい。

③ 防災＝なんか難しそう

「何を揃えたらいいの?」「高そう…」と感じて、手が止まりやすい。

④ 行政がしっかりしているから、任せがち

富山は行政が安心できる分、「なんとかしてくれるやろ」と家庭での準備が後回しになりやすい。

⑤ 周りがやってないと、自分もやらない※

まわりで防災の話をあまり聞かないので、“まだいいか”になりがち。

⑥ 忙しくてつい後回し

日常で困っていないから、“そのうちやろう”で終わってしまう。

【まとめ】

富山で防災が広まらないのは、「大丈夫やろ」

「行政がなんとかするやろ」

「難しそう」

「周りがやってない」

この気持ちが重なっているから。

でも、家庭防災はすごく簡単！

※同調圧力

人は「周囲の人と同じ行動をとる」ことで安心感を得ようとします。行動を起こす人がいないと「まだ大丈夫だろう」と思い込みやすい。